

【説明資料】

国際ドストエフスキー協会 (International Dostoevsky Society) とその国際シンポジウムについて

1 国際ドストエフスキー協会 International Dostoevsky Society (略称IDS)

ドストエフスキー研究のために1971年に創設された国際組織。その傘下に、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、チェコ、エストニア、フランス、ドイツ、ハンガリー、イタリア、日本、ニュージーランド、ポーランド、ロシア、スカンジナビア、スペイン、スイス、イギリス、アメリカ合衆国などの国・地域にドストエフスキー研究者の団体があり、IDSは世界のドストエフスキー研究者の交流と協働を推進している。

IDSの主な活動は、研究誌Dostoevsky Studies(1980年より)の刊行と、3年に一度、国際シンポジウムを開催することである。

ホームページ：<https://dostoevsky.org/>

2 IDSの組織

IDSの歴代会長は以下の通り。Nils Åke Nilsson (Stockholm), Robert L. Jackson (USA) Michel Cadot, Rudolf Neuhäuser, Malcolm V. Jones, Horst-Jürgen Gerigk, Ulrich Schmid, Deborah Martinsen, Vladimir Zakharov, Carrol Appolonio.

現在の役員構成は以下の通り。

会長 Carol Apollonio (Duke University), USA

財務担当 Jonathan Paine, UK

事務局長 Benamí Barros, Spain

理事 Stefano Aloe, Italy; Alejandro Ariel González, Argentina; Ikuo Kameyama (亀山郁夫), Japan; Katalin Kroó, Hungary; Deborah Martinsen, USA; Zhou Qichao(周启超), China; Igor Volgin, Russia; Vladimir Zakharov, Russia.

3 国際ドストエフスキー・シンポジウム International Dostoevsky Symposia

IDSの主催により1971年の創設大会以来、世界各地で3年に一度開催されてきた。

I 1971 - Bad Ems (ドイツ、参加者14か国60名)

II 1974 - Sankt-Wolfgang (オーストリア)

III 1977 - Copenhagen(デンマーク)

IV 1980 - Bergamo (イタリア)

V 1983 - Cerisy-la-Salle (フランス、参加者70名)

VI 1986 - Nottingham (イギリス、参加者80名。初めてソ連から参加)

VII 1989 -Ljubljana (クロアチア)

VIII 1992 - Oslo (ノルウェイ)

IX 1995 - Gaming (オーストリア).

X 1998 - New York (USA)

XI 2001 - Baden-Baden(ドイツ)

XII 2004 - Genève (スイス)

XIII 2007 - Budapest (ハンガリー)

XIV 2010 - Naples (イタリア、参加者 22 か国 100 名)

XV 2013 - Moscow (ロシア、参加者 26 か国 142 名)

XVI 2016 - Grenade (スペイン)

XVII 2019 - Boston (USA)

*最近2回(の大会グラナダ、ボストン)の参加者実数は不明だが、最大160名までと Call for Papers に記載されている。

4 2022年名古屋大会について

第18回国際ドストエフスキー・シンポジウムは、2022年3月4日～8日に名古屋外国語大学で開催される予定になっており、日本のドストエフスキー研究に関係する多くの大学・学協会の研究者が結成した組織委員会が準備・開催の責任を負う。組織委員会は2021年4月6日にオンラインで発足会議を行い、正式に発足した。

第18回大会のメイン・テーマは、完成後150周年を記念して、長編小説『悪霊』とする。具体的には、「ドストエフスキーと破局の想像力」「ドストエフスキーと音楽/映画」「アジアにおけるドストエフスキーの受容とそのアジア文化・文学への影響」などのセッションを行う。そのほか、現代のドストエフスキー研究全般に関連したテーマも受理する。

参加者は最大150名とし、対面での実施を目指して準備を進める。会場は名古屋外国語大学が新しい名駅キャンパス(2021年10月に竣工予定)を提供する。

使用言語は英語、ロシア語に加え、今回は日本語セッションを設けて日本語による報告も認める。

参加登録費 100ドル(家族・同伴者50ドル)。大学院生50ドル。

援助の必要な参加者に対しては経済的支援を行う予定。

主催・後援・協力団体

(主催者) 国際ドストエフスキー協会(IDS)

(主後援者) 名古屋外国語大学

(協力団体等)

日本ドストエフスキー協会(DSJ)

ドストエフスキーの会(JDS)

日本ロシア文学会

日本比較文学会

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

東京大学スラヴ語スラヴ文学研究室

東京外国語大学ロシア語専攻

早稲田大学ロシア語ロシア文学コース

日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)「危機と再生のヴィジョン：ドストエフスキーの世界性をめぐる超域的研究」(課題番号 20H01253)